

人権学習展開例〔第１・２・３学年〕

1 主 題 望ましい人間関係を形成する

2 教材名

１１ つながりさがし



3 主題・教材について

集団づくりを進める上で、子どもたちが互いに積極的にかかわろうとし、互いの共通点や相違点を肯定的にとらえ、認め合おうとすることは重要である。

この活動では、好きな色や誕生月など、簡単にグループに分かれることのできる項目が提示される。子どもたちは、その項目について自分に当てはまる事柄を、言葉やジェスチャーで表現することによってグループをつくる。子どもたちが楽しみながら活動を行うことによって、互いに自信をもってかかわろうとする態度を身につけさせたい。

（関連領域：特別活動）

4 ねらい ・ 友だちとの共通点や相違点を知り、その中で自分の意見を出せるようにする。

5 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	・ 絵を見ながら、ゲームの進め方を知る。	・ 教室内を自由に動き回ることができるスペースをつくる。	
展開	「つながりさがし」ゲームをやってみよう。 ・ 「つながりさがし」ゲームを行う。 ①教師が発表する項目を聞く。 ②自分に当てはまる事柄を言いながら、同じ事柄の友だちとグループをつくる。 ③グループのみんなが集まったら、まとまりをつくって座る。	・ グループに分かれるための項目を発表する。 （例）「好きな動物が同じ友だち同士で集まりましょう」 他に、好きな色、好きな食べ物、好きな季節、誕生月などが考えられる。 ・ 大人数のグループがよいということではなく、一人であっても多様性の幅が広がってよいということを伝える。 ・ グループで集まるとき、言葉を使わずジェスチャーで集まる場面を取り入れると、活発な子どもに引っ張られることなく活動できる。 ・ 慣れてくると、教師の指示ではなく、子どもたちが交替して指示を出し、ゲームを続けることも考えられる。	
まとめ	学習をふり返ろう。 ・ 活動を通して感じたことや気づいたことをふりかえりシートに記入する。 ・ 感想を出し合う。	・ すずんで声をかけてグループをつくることができたか、友だちとの違いに気づくことができたかという点についてもふり返らせる。	ふりかえりシート

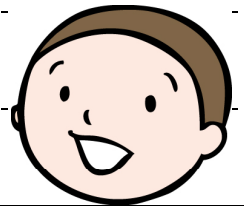
つながりさがし

なまえ（ ）

- 1 「つながりさがし」をしてみて、どうでしたか。
どちらかに○をつけましょう。

（ ） たのしかった （ ） たのしくなかった

- 2 りゆうをかきましょう。



- 3 「つながりさがし」をしてみて、^き気がついたことがあれば
かきましょう。

